議題3 第2次千葉市農業推進行動計画(平成29年度分)の結果報告について

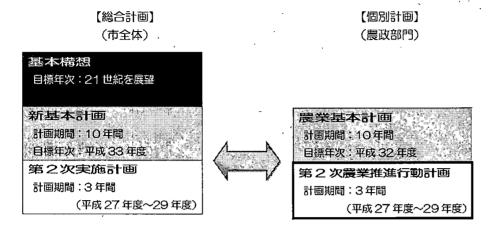
「農業推進行動計画」は、「農業基本計画」を着実に推進するための具体的な施策を掲げたものです。

昨年度は、7月の第1回協議会にて、第2次千葉市農業推進行動計画 の進捗状況や成果を点検・検証いただき、その結果を踏まえ、11月の 第2回協議会にて、第3次千葉市農業推進行動計画(案)をご審議いた だいた上で、3月に策定・公表いたしました。

今回は、第2次千葉市農業推進行動計画の最終年度となる平成29年度分の結果について報告するものです。

1 農業推進行動計画の位置付け

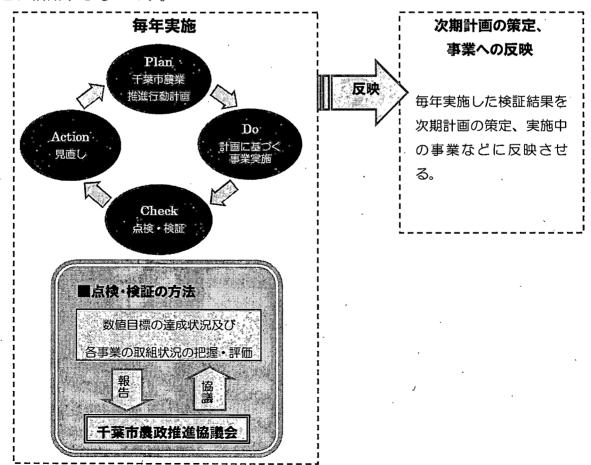
「農業推進行動計画」は、「農業基本計画」を着実に推進するための具体的な施策を掲げたものです。



2 進行管理について

(1) 進行管理の目的

農業推進行動計画を着実に推進するため、進捗状況や成果を点検・検証し、必要に 応じて施策内容の見直しを行い、翌年以降の施策に反映していく、PDCAサイクルに よる進行管理を行うとともに、市民と検証結果を共有し、次期計画の策定や実施中の事 業などに活用するものです。



(2)項目

- ア 主要事業の取組状況の把握・評価【47事業】
- イ 数値目標の達成状況【2.0項目】

(3)方法

- ア 主要事業の取組状況の把握・評価
 - ①市民に分かりやすくするため、「A・B・C」の3段階で評価します。
 - ②各事業の取組状況を把握・評価し、次年度の取組に反映させます。 内容は次のとおりとします。

評価	」, 内 容	当年度の記載内容	翌年度の記載内容	
À	計画以上の成果があった	特記事項	・取組内容	
Λ	时画外上》//戏术//*/8/7972	・取組状況	NAMELY 1/45	
В	計画どおり実施した	• 取組状況	• 取組内容	
	計画どおり実施されな	• <u>問題点</u>	• <u>課題</u>	
C	かった	・取組状況	• 取組内容	

イ 数値目標の達成状況

算出方法···達成率 (%) = 実績値/目標値×100

(4)協議

千葉市農政推進協議会で検証結果を協議します。

(5) 公表

検証結果は、ホームページ等で毎年公表します。

3 主要事業 評価一覧

杜	方向 方向	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	主要事業名	A	評価 B	Ċ	担当課
1	1. Av. 2. 1. 1.	1 営農指導の充実	1 生産現場における課題解決の迅速化	-i	0		農業生産振興課
	一路機相等の元失	2 計画的な農家への巡回指導	i	0		農業生産振興課	
新 鮮 で		2 技術開発の推進	3 優良後継牛の確保支援		0		農業生産振興課
鮮 で	1 生産性の向上	2 1文刊研充の推進	4 農業経営に有望となる種苗の供給	<u> </u>		0	農業生産振興課
り安		3 生産コストの低減	5 生産近代化機械施設の整備促進	Į.	0	l	農業生産振興課
女全		4 計画的な生産出荷体制の整備	6 イチゴ・トマトを主軸とした生産支援	!	0		農業生産振興課
の安定共会 安全安心		5 価格安定化対策の推進	7 千葉市野菜価格安定対策事業の実施	_i	0		農業生産振興課
CA 心な農畜産		6 適切な肥培管理の推進	8 土壌診断による施肥設計の作成支援	<u>!</u>	0		農業生産振興課
典		7 市内産農畜産物の販売機会の創出	9 多様な販売ルートの確立	_			農政課
畜	2 地産地消の推進	8 学校給食での市内産農畜産物の利用拡大	10 学校給食等での利用拡大	_i	0		農政課
産	C ASPEASATORIE	9 食と農の理解の促進	出張授業・地産地消キャンペーンの実施	Į	0		農政課
物		10 食の安全と消費者の信頼の確保	12 千葉市産農産物生産者認証制度の充実	_i		0	農政課
		11 優良農地の適正管理	13 農業振興地域制度の周知	- 	0	1	農政課
	0. 原点期44.074/21.十分	12 生産基盤の整備	14 農業用用排水対策事業の推進	i	0		農政課
	3 優良農地の確保と有効利用	12 生性整盤の発調	15 農道舗装整備の推進 16 利用権設定者に対する支援	i	0		農政課
2	79/73	13 農地の集積と活用の促進	16 利用権設定者に対する支援	i	0		農政課
		14 耕作放棄地の解消と利活用の推進	17 耕作放棄地の未然防止と利用促進	1	0		Ⅰ 農政課·農業生産振興
安 定		15 認定農業者の育成	18 農業経営改善計画の作成・達成支援	1		0	農業経営支援課・農業生産振卵
走	a more transfer and	16 新たな担い手の確保・育成	19 「人・農地プラン」による地域農業の活性化	_i	0		農地活用推進課·農業経営支持
t-	4 意欲ある担い手の確保 ・育成	10 新たな担い子の健保・同成	20 新規就農者等の確保・育成	î	0		農業経営支援課
た 農 業 経	- 月秋	17 「家族経営協定」の推進	21 家族経営協定の普及	0			農業経営支援課
業		18 農業経営体の法人化への推進		1	0		農業経営支援課
经	a sa a s	19 6次産業化の推進	22 認定農業者等の法人化への誘導 23 6次産業化の支援	i		10	
営 体	5 農家所得の向上	20 販路拡大の支援	24 トップセールス等の活用	1	0		農政課
PP の 育 成		21 千葉市ブランドの確立	25 加工品開発及びブランド化の支援		0		農政課
Ť	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		26 環境保全型農業の取組への支援	i —	Ō		農業生産振興課
艾		22 健全な土づくりの推進	27 土壌診断の充実	-!	Ō	İ	農業生産振興課
*	6 環境にやさしい農業の推進	23 家畜排せつ物の適切な管理	28 家畜排せつ物処理状況の巡回指導		0	1	農業生産振興課
1 3	推進	24 堆肥の有効利用	29 耕畜連携による堆肥利用の促進	j	0		農業生産振興課
		25 減農薬の推進	30 大学との天敵の共同研究		0		農業生産振興課
		26 いずみグリーンビレッジ事業の推進	31 いずみグリーンビレッジ構想の拠点地域の活性化				農業経営支援課
3		27 農とふれあう機会の充実(市民農園・体験農園・観光農園)	32 市民農園等の整備及び利用の促進	╁┷	0	\vdash	農政課
	7 都市と農村の交流促進	28 教育現場での農業の活用	33 小中学生が農業と親しむ機会の創出	<u> </u>	5	1	農業経営支援課
農		29 情報の提供	33 小中学生が農業と親しむ機会の創出 34 市民への情報発信 35 農村の水環境の保全 36 景観形成作物の取組に対する支援	-	0		農政課
農村		30 快適な農村環境の整備	35 農村の水環境の保全		0	+	
<u>د</u> خه	The second secon	31 美しい農村景観づくり	36 景観形成作物の取組に対する支援	- j	10	1	農業生産振興課
林	8 農村環境の整備と保全	32 集落機能の維持	37 集落保全活動の維持·支援	- 	8	+	<u> 展果王座級與詠</u>
- 森 林 の		32	38 有害鳥獣対策の支援	-}	0		
持		33 有音編畝対象の推進 34 優良な森林の整備推進	39. 市森林整備計画の実行·推進	- <u>i</u>	0		農業経営支援課
Z	9 健全な森林づくりの推進	35 価値ある森林づくりの推進	40 森林の適正管理及び木材利用の推進		8		是業経営支援課 農業経営支援課
多面	~ 唯工:5杯1小ノング推進	35 1回過の3株件 ブンリの推進 36 森林病害虫対策の推進	41 被害森林再生・資源循環促進事業への支援	- 	0	-	是業経営支援課 - 農業経営支援課
的		37 森林への関心の向上	42 林業体験教室の実施	<u> </u>	8	1	展集程
機	10 森林にかかわる人	37 森林への関心の同工 38 森林ボランティアの育成と活動の支援	43 森林ボランティア活動の支援	10	1	+	■ 展末程呂又抜踩 ■ 農業経営支援課
機 能	づくりの推進	39 森林所有者の組織の育成と強化	44 森林組合の育成強化	╁	0	+	展案程 B 又 按 課
の			44 森林組合の育成強化 45 里山づくりの推進	- <u>i</u>	18	 .	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
-	11 森林の多面的機能の	40 里山地区の保全	45 <u>単</u> 山つくりの推進 46 <u>農業と連携した森林機能の活用</u> 47 市有林等活用事業の充実		10	-	農業経営支援課 農業経営支援課
活用	・ ・ 本本でかりノラクロロウンの政治とリノ	41 森林と農業の連携					

4 数値目標の実績及び達成率一覧

施 策	項 目	策定時 (平成26年3月末)	29年度実績 (平成30年3月末)	目標 (平成29年度)	達成率
1 営農指導の充実	(1) 営農指導巡回回数	291回/年	452回/年	420回/年	107.6%
2。技術開発の推進	(2) 新規種苗供給品目数		0品目	2品目	0.0%
	(3)トマト施設栽培農家戸数	19戸	22戸	21戸	104.8%
4. 計画的な生産出荷体制の整備		(23,678m²)	(33,658㎡)	(25,678㎡)	(131.1%)
	(4) イチゴ高設栽培農家戸数	15戸	18戸	17戸	105.9%
		(26,268m²)	(28,926㎡)	(28,268㎡)	(102.3%)
	(5) 市内産農畜産物取扱店舗数	63店舗	82店舗	83店舗	98.8%
7 市内産農畜産物の販売機会の創出	(地産地消推進店登録数)	(-)	(27件)	(20件)	(135.0%)
	(6) 地場産品レストラン認定数	<u> </u>	0件 .	2件	0.0%
10 食の安全と消費者の信頼の確保	(7) 千葉市産農産物生産認証者数	182人	177人	200人,	88.5%
14 耕作放棄地の解消と利活用の推進	(8) 営農再開面積	6.0ha	8.4ha .	8.8ha	95.5%
15 認定農業者の育成 :	(9) 新規認定農業者数	6経営体/年	5経営体/年	10経営体/年	50.0%
	(10) 新規就農者数	7人/年	13人/年	10人/年	130.0%
	(11) 後継者向け研修の受講者数	65人	109人	117人	93.2%
16、新たな担い手の確保・育成	(12)「人・農地プラン」策定地区数	3地区	6地区	13地区	46.2%
	(中心経営体数)	(16経営体)	(38経営体)	(27経営体)	(140.7%)
	(13) 農業版ハローワーク雇用・農業ホーランティア成立件数	. 358件	398件	398件	100.0%
17「家族経営協定」の推進	(14) 家族経営協定締結件数	20件	30件	28件	107.1%
19 6次産業化の推進	(15) 6次産業化の認定件数	2件	3件	4件	75.0%
26 いずみグリーンビレッジ事業の推進	(16) 都市農業交流センター来訪者数	171,048人/年	210,953人/年	190,000人/年	111.0%
27 農とふれあう機会の充実	(17) 市民農園 農業体験農園数	35箇所	39箇所	44箇所	88.6%
27 1度にか160万亿本	(18) 観光農園バリアフリートイレ設置数	. 7箇所	9箇所	11箇所	81.8%
28 教育現場での農業の活用	(19) ワークショップの開催数	8回/年	3回/年	10回/年	30.0%
38 森林ボランティアの育成と活動の支援	(20) 森林ポランティア数	172人	251人	187人	134.2%

|目標達成(100%以上) 8指標、概ね達成(80~100%) 6指標、目標未達成(80%未満) 6指標

第2次千葉市農業推進行動計画・進行管理票(29年度)

柱1 新鮮で安全安心な農畜産物の安定供給

1 生産性の向上

施策1一営農指導の充実 主担当:農業生産振興課

数値目標	策定時 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達成率	,
(1) 営農指導巡回回数	291回/年	698回/年	450回/年	452回/年	420回/年	107.6%	
主《要《事:棠》》	29	年度の取組状	況	評価	30年	度以降の取組	内容
1 生産現場における 課題解決の迅速化 <計画期間の取組内容> 現場での営農指導による 課題解決の迅速化を図る ため、専任アドバイザーを 設置します。	迅速に対応した ・生産現場にて 壌の物理性診断 ・専任アドバイ を開催した(加)。 ①肥料に関す	、専任アドバイ で行った。 が計35箇所 がずーによる職員	イザーによる土 員向けの講習会 市原市職員も参	B	・生産者からのする。 ・農業用機械の問題を解決する る土壌の物理性 ・職員のレベル	D指導要請に対し D大型化に伴うさ 3ため、専任アリ き診断および改き レアップを図るが 見技術員等による	ン、迅速に対応 上壌の物理性の ドバイザーによ 善指導を行う。 こめ、専任アド
2 計画的な農家への 巡回指導 <計画期間の取組内容> 農家が抱える問題を解決 し、生産性の向上を図るため、毎年営農指導計画書 を作成し、計画的に営農指 導を実施します。	・ 予報状況 ・ 各品目や地域 問題をとらえ、 営農指導を実施	ば、個々の生産で これを解決する	当が抱えている	В	・地域や品目、	生産者ごとの問題を実施し、問題	問題を的確にと

施策2-技術開発の推進 主担当:農業生産振興課

	·	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	17 (R I			•	
数値目標	策定時 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達成率。	-
(2) 新規種苗供給品目数	_	O品目	O品目	O品目	2品目	0.0%	
主要事業	29)年度の取組状	況	評価	30年	度以降の取組	内容
3 優良後継牛の確保 支援 <計画期間の取組内容> 乳牛の生乳生産性を向上 させるため、性判別精液や 受精卵の活用による優良 後継牛の確保支援を行い ます。	と受精卵の購入 ①性判別精液 ②受精卵の開 ・優良後継牛硫) ³ 知を図った。	В	と受精卵の購入 ・上記事業の周		
4 農業経営に有望と			こおいて、順化		を図るとともに	計) ⊘ Sけて、大学・1 に、専門技術者の 国上が必要である	D指導により職
なる種苗の供給 <計画期間の取組内容> 千葉市での農業経営に適した農作物の種苗を供給するため、大学と協力し、 優良な種苗の開発を推進します。	により選抜を進 方法を検討した ・洋ラン(ムラ 開始した。 ①供給数 3 ・本市での栽培 の種苗供給を行 図った。	るニンニクのま めるとともに、 サキノウスヨワ 60本 5に適したイチュ	就培試験の結果 培養苗の順化 つ)の苗供給を ゴ・ワケネギ等 官や産地化を	O	ニクの系統選挑 行うとともに、 る。 ・イチゴ・ワク 営の安定や産地	正配置し、新た版 反を進め、生産政 薬用植物の試験 「ネギ等の種苗的	見場での試験を 食研究を進め 共給を行い、経

施策3-生産コストの低減 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
5 生産近代化機械施設の整備促進 <計画期間の取組内容> 生産性の高い農業経営を確立し、ニンジンなどの主要品目の産地を維持するため、認定農業者や生産組合等に対する機械施設整備を促進します。	・	В	を取組内容 ・生産性の高い農業経営体を育成するため、 従来の市の施策に加え、国事業を活用し、ハ ウスや集出荷施設の整備、各種省力化機械の 導入を促進する。

施策4一計画的な生産出荷体制の整備 主担当:農業生産振興課

数值目標	策定時 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実、績 (29年度)	目 標 (29年度)	達成率	
(3) トマト施設栽培農	19戸	19戸	21戸:	22戸	21戸。	104.8%	
家戸数	(23,678m²)	(24,830m²)	(29,870m²)	(33,658m²)	(25,678m²)	(131.1%)	
(4) イチゴ高設栽培農	15戸	16戸	18戸	18戸	17戸	105.9%	
家戸数	(26,268m²)	(26,928m²)	(28,926m²)	(28,926m²)	(28,268m²)	(102.3%)	
主要事業	29	9年度の取組制	況	評価	30年	度以降の取締	祖内容
6 イチゴ・トマトを主軸とした生産支援 <計画期間の取組内容> 千葉市の都市農業を特色 あるものにするため、イチゴとトマトを主軸とした生産 技術支援を強化します。	リー)」の育店 行った。 ・大玉トマト及 よる品種比較記	重「千葉S4号 首方法等に関す なびミニトマト 成験を、みかど は市に適した品 、比較品種数	(チーバベ	В	・イチゴ新品種 リー)」の育育 き続き実施する ・大玉トマト及 よる品種比較記	重「干葉S4号 す方法等に関す る。 なびミニトマト ば験を、みかど は市に適した品 、比較品種数	: (チーバベ る栽培試験を引 の袋培地栽培に協和(株)と連種の選定を進め 6品種 6品種

施策5-価格安定化対策の推進 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
7 千葉市野菜価格安定対策事業の実施 <計画期間の取組内容> 農業経営の安定と生産意 欲の向上を図り、市内市場に新鮮な野菜を計画的に 供給するため、野菜価格 が低落した時、千飯議会に 対し、補償金を交付しま す。	●取組状況 ・ 千葉市野菜価格安定対策協議会が生産者に対して支払う補償金や、国・県の制度に参加する生産者の負担金に対して助成した。 ①千葉市野菜価格安定対策 16品目(イチゴ他) ②野菜生産出荷安定 6品目(春夏ニンジン他)	В	△取組内容 ・協議会が生産者に対して支払う補償金や、 国・県の制度に参加する生産者の負担金に対して助成する。 ①干葉市野菜価格安定対策 16品目(イチゴ他) ②野菜生産出荷安定 6品目(春夏ニンジン他) ・国の収入保険制度との重複支給に関して、関係機関(JA、共済組合等)と協議・調整し、内容の整理を進めるとともに、生産者への周知徹底を図る。

施策6-適切な肥培管理の推進 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
8 土壌診断による施肥設計の作成支援 (計画期間の取組内容) 過不足のない適正な施肥による生産性の向上を推進するため、農家の土壌 診断を活用した施肥設計の作成を支援します。	・生産者に対して、土壌診断を活用した施肥設計の作成を支援した。 ①土壌診断 596検体 ②養液診断 445検体 ③堆肥 12検体 合計 1,053検体	m	●取組内容 ・生産者に対して、土壌診断を活用した施肥設計の作成を支援する。 ①土壌診断 600検体 ②養液診断 450検体 ③堆肥等 10検体 合計 1,060検体

2 地産地消の推進

施策7一市内産農畜産物の販売機会の創出 主担当: 農政課

	ををしています。	競会の創出	王担当:農政語	米			_
数值目標	策定時 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達成率	
(5) 市内産農畜産物取 扱店舗数	63店舗	66店舗	80店舗	82店舗	83店舗	98.8%	
(地産地消推進店登録 数)	_	(O件) ´	(0件)	(27件)	(20件)	(135.0%)	
(6)地場産品レストラン認定数	_	O件	O件	O件	2件	0.0%	
主要事業	29	9年度の取組状	況	評価	30年	度以降の取組	内容
9 多様な販売ルートの確立 <計画期間の取組内容>多様な販売ルートを確立するため、販売店やレストラン等との交流会・産地見学会等を行うとともに、等を地消推進店登録制度等を創設します。	・ 度を	の飲食店への即度実施した流通である活用を拡充である活用を拡充であるにできまる。 農産物 直売 記述 は まっこ	消推進店 登録件数 振進店 の路拡大を検え に化、検証 実ごうるため を上するため はまである。 をはずるため がはない。 は進店) ではまれる。 ではまれる。 がはない。 はずるため。 はずる。 はな。 はな。 はな。	A	・マーケットイ ・市内産農産物 る。 ①飲食店販売 (担い手賃 ②産地見学会	イン志向生産者の かの飲食店への!! も志向農家の掘り う成班と連携)	の支援を行う。 阪路拡大を図 の起し

施策8-学校給食での市内産農畜産物の利用拡大 主担当:農政課

主要事業	29年度の取組状況	評価:	30年度以降の取組内容
10 学校給食等での利用拡大 <計画期間の取組内容> 市内産農産物の利用拡大 を図るため、小中学校や保育所等の給食に食材を供給するとともに、料理講習会を開催します。	・市内全小中学校の給食に、市内産農産物8品目を供給した。コメ、ニンジン、バレイショ、コマツナ、ホウレンソウ、スイカ、ブロッコリー、キャベツ・計267t・教育委員会、JA千葉みらい、千葉青果㈱等の関係機関と、新たな品目の導入について検討した。・出張授業用学習資料を、ホームページに公開した。 5品目(ニンジン、コマツナ、キャベツ、スイカ、牛乳)・市内産農産物を活用した料理講習会の実施2回(土気からし菜、いももち)	B	●取組内容 ・学校給食での市内産農産物の利用拡大するため、市内全小中学校の給食に、市内産農産物8品目を安定供給する。 ・小学校での市内産農産物の活用(共通メニュー以外)を促進する。 ①小学校栄養士対象の研修会の実施

施策9一食と農の理解の促進 主担当:農政課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
11 出張授業・地産地消キャンペーンの実施 <計画期間の取組内容> 市内産農産物や農業に対する理解促進と、消費拡大を推進するため、小学校での生産者出張授業や地産地消キャンペーンを実施します。	⑥牛乳 2月 ・30年度からのコメの授業の実施に向け、 生産農家、JAの協力により学習資料を作成 した。 ・地産地消キャンペーン	В	●取組内容 ・消費者への農育を推進するため、市内小学校で生産者による出張授業を行う。 ①新たにコメの授業を追加 ・小学校5年生を対象 10月 新米コシヒカリの供給時期実施 ②6品目、7校実施 ・「「葉市産農産物を購入・試食できる場所の見える化」を推進するため、キャンペーン・「会に受ける。・地産地消キャンペーン・「地震市フェアのがあります。」では、おいしい写真投稿・キャンペーン・「連市のやさいおいしい写真投稿・キッンペーン・包括提携協定に基づくフェア関催・「カイオン・コーカドー 3市連携フェア・市内産農産物の見える化市場流通の市内産農産物販売PR

施策10-食の安全と消費者の信頼の確保 主担当:農政課

数値目標	策定時 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達成率	
(7) 千葉市産農産物生 産認証者数	182人	184人	181人	177人	200人	88.5%	
主要事業	29	年度の取組状	況	評価	30年	度以降の取組	内容
12 千葉市産農産物生産者認証制度の充実	てきている。 ①認知度の個 ②地産地消シ	E物生産者認証	制度が形骸化し の活用の低迷 集の時代変化		・農産物の安全・販売事業者のの対応	各)● 全性を示す制度の D安全制度要求に	の高度化 に関する動向へ
<計画期間の取組内容> 生産者と消費者の顔の見 える農業を実現するため、 直売志向の生産者への認 証(新規及び再認証)を推 進するとともに、認証者へ のシンボルマークの貼付啓 発と消費者へのPRにより認 知度向上を図ります。	・千葉市産農店 た。 ①認産産創設がの記し、 ②地制度、制工の記し、 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	で物生産者認証のアンケートの野進連絡会議でのから10年を経過の適正利用等の関連推進を実効では、 は進指針を要対では、 は対けを農業基本を関する。 を関すると、 をし、 をし、 をし、 をし、 をし、 をし、 をし、 をし	制度を廃止し 実施 の意見聴取 には、生産履歴 を発の役割を終 養を廃止した会議 するためので食うで は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	C	・安全安心な島→GAP、千・「干葉市地超方法の見直しる・「干葉市産島	遺産物の生産の抗 葉エコ等の取得 産地消シンボルマ	

第2次千葉市農業推進行動計画-進行管理票(29年度)

柱2 安定した農業経営体の育成

3 優良農地の確保と有効利用

施策11-優良農地の適正管理 主担当:農政課

主要專業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
13 農業振興地域制度の周知 <計画期間の取組内容>農業振興地域内の農用地区域の保全を図るため、パンフレット等で農業振興地域制度の周知を行います。	・問い合わせのあった事業者等に対して、作成したパンフレットなどにより制度の説明を行うとともに、窓口用の農用地区域の確認書を改訂した。 ・市政だより(7/15号)に制度の概要を掲載した。 ・関係部署(宅地課等)と連携し、事業者への周知を行った。	BUCKER, TREESE ARREST FOR A SAME AN	・農用地区域での開発を計画する事業者等にパンフレット等により制度の説明を行う。・農用地区域の除外について、除外要件や手続きの流れをわかりやすく示したパンフレットを改訂する。・H29年度から農業振興地域整備計画の全体見直しを行っているため、除外受付等の一時停止を周知する。

施策12-生産基盤の整備 主担当:農政課、農業生産振興課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
14 農業用用排水対策事業の推進 <計画期間の取組内容> 農業経営の安定化を図る ため、北総中央用水の利 括用を推進します。また農 業生産性の向上のため、 土地改良区等に対して井 戸揚水機の電気料を補助 します。	・北総中央用水の利活用の推進を実施した。 ①地元との懇談会 10回 ②先進地視察 1回 ③基本計画策定業務委託 4,212千円 ・井戸ポンプの電気料を一部助成した。 ①対象団体数 33団体 ②補助金額 6,999千円	В	●取組内容 ・北総中央用水の利活用の推進を実施する。 ①地元との懇談会等 8回 ②事業採択申請書作成委託 8,000千円 ・井戸ポンプの電気料を一部助成する。 ①対象団体数 33団体 ②補助金額 7,000千円
15 農道舗装整備の推進 <計画期間の取組内容> 農業生産性の向上と農村 生活環境の改善を図るため、緑農住区開発関連土地基盤整備事業による道路の舗装整備を行うとともに、農業用道路の舗装整備を行います。	●取組状況 ・ 農道の舗装整備を実施した。 ①整備箇所 1箇所 (緑区板倉町) ②整備延長 150m ・ 緑農住区の道路整備を実施した。 ①整備延長 155m ②その他の整備 ボックスカルバート敷設 1箇所	В	●取組内容 ・農道の舗装整備を実施する。 ①整備箇所 1箇所(若葉区川井町) ②整備延長 300m ・緑農住区の道路整備を実施する。 ①整備延長 120m

施策13-農地の集積と活用の促進 主担当:農政課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
16 利用権設定者に対する支援 <計画期間の取組内容> 農地の利用集積を促進するため、利用権が設定された農地の貸付者、借受者に対して補助金を交付します。	同に J い で、 期间 や 間積 に 励 し て 助 成 し た。 ① 件 数 34件 ② 対象 面積 25.7 ha ・ また、 農 地 中間 管理 事業 に よ り、 土 地 改 良 区 を 中 心 に 農 地 の 利 用 集積 が 図 ら れ た。	ΉΒ	・4つの農地の貸し借り方法のパンフレット 及び農地の貸し借りのYes-Noフローチャートにより事業を周知し、農業経営基盤強化促進法に基づく農地の賃借について助成する。

施策14一耕作放棄地の解消と利活用の推進 主担当:農政課、農業生産振興課

数値目標	現状 (28年度末)	実 積 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達成率	
(8) 営農再開面積	6.0ha	7.4ha	7.9ha	8.4ha	8.8ha	95.5%	
主要事業	29	9年度の取組状	況		30年	度以降の取組	内容
17 耕作放棄地の未然 防止と利用促進 <計画期間の取組内容> 耕作放棄地の未然防止及 び解消を促進するため、大 型草刈機の貸し出しを実 施することにより農地の保 全や適性利用を進めるとと もに、遊休農地情報を公 表し、利用希望者とのマッ チングを行います。	・耕作希望者に 「耕作放棄地 を促動に ・遊休農山 ・遊休農山 ・遊休豊した。 ・大型草川機 ・の利用戸数	1件 ②解消配 含む農地情報を配 E貸出しした。	青報を提供し、 用して再生利用 可積 0.50ha 豊業委員会、J		・関係機関で約 により、マッラ る。	組織する「地域語 チングにつながる 等を活用し再生 O.7ha	農業振興部会」 3情報を収集す

4 意欲ある担い手の確保・育成

施策15-認定農業者の育成 主担当:農業経営支援課、農業生産振興課

数値目標	策定時 (25年度末)	· 実 績 (27年度)	. 実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達成率	
(9) 新規認定農業者数	6経営体/年	3経営体/年	7経営体/年	5経営体/年	10経営体/年	50.0%	
主要事業	29	9年度の取組状	況	評価	30年	度以降の取組	内容
18 農業経営改善計画の作成・達成支援 <計画期間の取組内容> 農業経営を改善計画の作成を支援するともに、計画達成に向け生産技術・経営管理の指導規制と表表といまた。また、大人向け相談の出版と、大人向け相談の周知を行います。	象者が少ない。 本取組状況 ・ 千葉 市農業 派 成員 業経営 改善語 ・ 訪問 指導等 に	著の掘り起し	ンター会議の構 きと既認定者の 支援した。 体 農業経営指標」	C	の効果的な掘り の 取組内容 ・干葉市農業総 成員との連携を り起しに努め、	が見込まれる。)起しが必要でな	ある。 ンター会議の構 志向農業者の掘 誘導していく。

施策16一新たな担い手の確保・育成 主担当:農業経営支援課、農地活用推進課

20714 · O · 1771 · C · 12	- 1 42 ME P/4		· //C//C/III // // // // // // // // // // // //	2,410 /20 BIA	TITLE CHIL		_
数值目標。	策定時 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 積 (29年度)	目 標 (29年度)	達成率	
(10) 新規就農者数	7人/年	2人/年	12人/年	13人/年	10人/年	130.0%	
(11)後継者向け研修 の受講者数	65人	89人	99人	109人	117人	93.2%	
(12) 「人・農地プラン」策定地区数	3地区	3地区	5地区	6地区	13地区	46.2%	
(中心経営体数)	(16経営体)	(22経営体)	(29経営体)	(38経営体)	(27経営体)	140.7%	
(13)農業版ハローワーク雇用・ボランティア成立件数	358件	384件	391件	398件	398件	100.0%	
主要事業	29	9年度の取組状	況	評価	30年	度以降の取組	内容
19 「人・農地プラン」による地域農業の活性化 <計画期間の取組内容>担い手不足や耕作放棄地の増加など、地域における人農地の問題を解決するため、「人・農地プラン」の細分化とともに、農地中間管理事業等を活用し、地域農業の活性化を推進します。	・「人・農地プラン」(花見川区・稲毛区) に新たに細分化地区を設定した。 【細分化地区】1地区(犢橋地区) ・全3地域の「人・農地プラン」について内 容見直しを行った。 【地域話し合い回数】3回 【細分化地区設定に向けた集落等での話し 合い回数】11回 【中心経営体(新規)】10経営体 ※離農の意思を示している1経営体をプラン から除外。			В	細分化地区の記 定した経営に資	きかした土地利所設定を積極的に設置するプランづらかいとなる経営	進め、地域の安 くりを目指す。
20 新規就農者等の確保・育成 <計画期間の取組内容> 農業の担い手を確保・育成するため、新規就農希望者や定年帰農者、農家で働きたい人に対し、研修や営農指導等を行うとともに、農業後継者に対し支援します。	・新規就農希証 近県の農業系元 集案内配布に。 ①研修受講 (1年目4人 ②巡回指導 ・新規就農者の 農業次世代人数 ①交付人数	、、2年目4人、 12回 D早期の経営確立 オ投資資金を交付	確保するため、 R (2校) や募 E) を行った。 3年目1人) 立を図るため、	В	・近県の農業系 ほか、都内の原 な新規就農者の ①研修受講者 (1年目5人 ②巡回指導 ・新規就農者の 農業次世代人本 ①交付人数	、2年目4人、 12回 D早期の経営確立 オ投資資金を交付	間PR等を行う 出展し、広域的 図る。 3年目4人) 立を図るため、

施策17一「家族経営協定」の推進 主担当:農業経営支援課

数。值:目:標	策定時 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達成率	
(14) 家族経営協定締 結件数	20件	23件	25件	30件	28件	107.1%	
主要事業	29)年度の取組状	況	評価	30年	度以降の取組	内容
21 家族経営協定の普及 <計画期間の取組内容> 女性農業者や後継者の経 営参画のため、家族経営 協定を普及します。	認定農業者の必メリットを周知上回った。 ・取組状況 ・女性農業者や	常協定の締結に終	、 二、協定締結の 帝結数が目標を 経営参画、円滑 関係機関と連	A	女性農業者や な経営承継等を	D農業後継者の終 E促進するため、	圣営参画、円滑 関係機関と連

施策18-農業経営体の法人化への推進 主担当:農業経営支援課

主、要、事、業	29年度の取組状況	評価 30年度以降の取組内容
22 認定農業者等の法人化への誘導 <計画期間の取組内容>認定農業者等の法人化を推進するため、関係機関と連携し講習会を開催するなど法人化を促進します。	門に関わる企業の担当者を講師に招き、講覧会を開催した。 ①講習会開催数 1回(12月開催)	

5 農家所得の向上

施策19-6次産業化の推進 主担当:農政課

数值目標	策定時 (25年度末)	実.績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達成率	-
(15) 6次産業化の認 定件数	2件	3件	3件	3件	4件	75.0%	
主要事業	29	9年度の取組状	況	評価	30年	度以降の取組	内容
23 6次産業化の支援	・市街化調整区 たり課題がある ①排水先がた ②接道の幅員 ・農家レストラ 家自らが開設で		テ為を行うにあ -スが多い を満たせず、農 である。		悪質な開発を 者要件の検討を個別の課題に る。ハード面の分である。	う) E 防ぎ、実際の限で行う。 こ合わせた開設する A 作が満たない場	制設を促す開設 支援が必要であ 場合は実施不可
<計画期間の取組内容> 6次産業化を目指す生産者の計画策定及び計画 成のため、認定志向農業 成のため、認定市、関係 機関との連携により情報提 供等の支援を行います。	・ 農家とでは 一世の 一世の 一世の 一世の 一世の 一世の 一世の 一世の	ランの開設支援を記念を含めます。 記念ではいます。 この派遣を受けれます。 こので現地等をある。	を行った。 を接 こが具体的な計 確認 一を開催した。 分する農家を講 いて講演	C	・農家レストラう。①農業者の農援②開設者要件③地産地消挑	ランの開設支援及	及びPRを行り開設計画を支

施策20一販路拡大の支援 主担当:農政課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
24 トップセールス等の活用 <計画期間の取組内容>市内はもとより、市外・県外への情報発信により販路拡大を推進するため、トップセールスを活用します。	・3市連携による市内産品PRを行った。 ①そごうでのフェア 2月 3市の食材を活用した東方巻きつく	В	・取組内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

施策21ー千葉市ブランドの確立 主担当:農政課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
25 加工品開発及びプランド化の支援 <計画期間の取組内容> 伝統野菜等の発掘を行い、ブランド化を図るため、加工・販売等について支援します。	本取組状況 ・伝統野菜土気からし菜のブランド化を図った。 ①安定生産及び品質向上支援 8月 土壌分析 1 〇月 は種講習会 2月 出荷会議 ②生産者の獲得 組合に2人加入 ③系統維持 農政センターにおいて種栽培 ④販路拡大 産地見学会、 業務需要にマッチング ・伝統野菜及び伝統料理の普及を図った。 ①いももち教室 11月 1回 ②土気からし菜漬物教室 2月 1回	В	・

6 環境にやさしい農業の推進

施策22一健全な土づくりの推進 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
26 環境保全型農業の 取組への支援 <計画期間の取組内容> 農業分野の地球温暖化防 止や生物多様性保全のた め、事業に取組む農家に 対し、交付金により支援し ます。	・農業用廃プラスチックの円滑な回収および 適正な処理を行った。 ①廃プラ処理量 26.03t	В	・農業用廃プラスチックの円滑な回収および 適正な処理を行う。 ①廃プラ処理量 28t
27 土壌診断の充実 <計画期間の取組内容> 土壌診断を充実させ、健 全な土づくりを推進するため、診断の迅速化と精度 向上を図ります。	・正確な土壌診断を実施するため、振とう機の更新を行った。 ・診断結果に問題があった場合や、生産者からの要望に応じて、専任アドバイザーによる個別面談を行った。		・土壌診断の精度を保つため、適時に必要な機器の更新を行う。 ・土壌診断の充実を図るため、診断結果の内容や生産者からの要望に応じて、専任アドバイザーによる個別面談を行う。

施策23-家畜排せつ物の適切な管理 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
28 家畜排せつ物処理 状況の巡回指導 <計画期間の取組内容> 家畜排せつ物の適正処理 を推進するため、畜産農家 に対し、排せつ物処理状 況の巡回指導を実施しま す。	た。 ①巡回 通年 ②適正処理指導 10件	В	◆取組内容・家畜排せつ物処理状況の巡回指導を実施する。①巡回 通年

施策24-堆肥の有効利用 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
29 耕畜連携による堆肥利用の促進 <計画期間の取組内容> 堆肥の有効利用を推進するため、耕種農家に対し、	承取組状況 ・家畜ふん堆肥の利用状況を確認し、堆肥利用希望農家に対し情報提供を行った。 ①情報提供 通年	В	全取組内容 ・家畜ふん堆肥の利用状況を確認し、巡回指導を通じて耕種農家に情報提供する。 ①情報提供 通年
家畜堆肥の情報を提供し利用を促進します。			ı

施策25-減農薬の推進 主担当:農業生産振興課

主要。事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
30 大学との天敵の共同研究 <計画期間の取組内容> 減農薬を推進するため、市内の土着天敵を調査し、 有効活用について大学と 共同研究を実施します。	調査を行った。 ・4月~10月 計4回		・生産現場における天敵や微生物資材の活用を進め、減農薬を推進するとともに生産者の労力軽減を図る。

第2次千葉市農業推進行動計画・進行管理票(29年度)

柱3 農村と森林の持つ多面的機能の活用

7 都市と農村の交流促進

施策26ーいずみグリーンビレッジ事業の推進 主担当:農業経営支援課

数値目標	策定時 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達成率	
(16) 都市農業交流センター来訪者数	171,048人/年	190,876人/年	· 192,134人/年	210,953人/年	190,000人/年	111.0%	
主要事業	. 29	9年度の取組状	況	評価	30角	 度以降の取組	[内容
31 いずみグリーンビレッジ構想の拠点地域の活性化 <計画期間の取組内容> いずみ地区の更なる活性化を図るため、3拠点が連携したPR活動を行うとともに、地域資源を活用した新たな活性化策に取り組みます。	・イマで、①②で、②③で、②③で、②③で、②③で、②③で、②③で、②③で、②③で、②③で、②	開催数 2回(1 3いて泉自然公 5農政センター	こ加え、ロゴとこの この この さい さい さい さい さい さい さい さい さい さい	A	季取組内容 ・いずみ地区のる。 ①連絡会議開・大学イントでの ・大信子の目のでのである。 ・大信の目のでのである。 ・大郎区でののでは、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切	D催しや講座を	格会議を開催す 或のPRや魅力 実施する。

施策27一農とふれあう機会の充実(市民農園・体験農園・観光農園) 主担当:農政課、農業経営支援課

数値目標	策定時 (25年度末)	実 積 (27年度)	実 積 (28年度)	実 積 (29年度)	目: 標 (29年度)	達成率	•
(17) 市民農園・農業 体験農園数	35箇所	40箇所	40箇所	39箇所	44箇所	88.6%	
(18) 観光農園バリア フリートイレ設置数	7箇所	9箇所	9箇所	9箇所	11箇所	81.8%	
主要事業	29	9年度の取組状	況	評価	30≜	E度以降の取組	内容
32 市民農園等の整備及び利用の促進 <計画期間の取組内容>市民が気軽に農業に親しめる場を提供するため、市民農園・農業体験農園・観光農園の整備を促進するとさい、市ホームページ、市政だよりによるPRに加え、市民農園養成講座の開設及び動画配信により、市民農園等の利用を促進します。	・農園開設を表し、新規開設に ・観光農園や画 真撮影用の看板利用者に促した	希望する地権者が に向け支援した。 宣売所の利用を対 反を配布し、SN こ。	からの相談に応 曽やすため、写	В	・市民農園がりを支援する。 ・市民農園利用園利用者の確保・観光農園利用	いない地域での親 用者養成講座を開 Rを促進する。 用者自らSNSで 取組を実施する	新たな農園開設 開催し、市民農 情報発信して

施策28-教育現場での農業の活用 主担当:農業経営支援課

数値目標	策定時 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達成率	
(19) ワークショップ の開催数	8回/年	9回/年	2回/年	3回/年	10回/年	30.0%	
主要事業	29	年度の取組状	況	評価	30年	度以降の取組	内容
33 小中学生が農業と親しむ機会の創出 <計画期間の取組内容>いずみ地区の自然環境・歴史・伝承文化等の地域資源を伝えるため、次代を担う地域の小中学生を対象に、ワークショップを行います。また、いずみ地区の魅力を広く知ってもらうため自然観察会、歴史探索会などを実施します。		Nの自然・歴史 Sかし、地域の「 フークショップ?	・文化・景観等 中学生(総合学 を開催した。	Ш	学校でワークシ	ノョップを独自にから、事業終了。	

施策29一情報の提供 主担当:農政課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
34 市民への情報発信 <計画期間の取組内容> 「農とふれあう場」を提供するため、農に親しみたい人へ、積極的に旬の情報や 各種イベント情報等を提供します。	図観光晨園 中政により、広報広聴課 SNS ③収穫体験 市政だより、千葉あそび ④地産地消推進店(つくたべ推進店) 市政だより、	В	●取組内容 ・関係機関と連携し、より広く情報を発信する。 ①各広報誌への掲載 観光農園→グリーンツーリズム広報誌等 地産地消推進店(つくたべ推進店) →市観光協会パンフレット等 ②PRイベントへの参加 ZOZOマリンスタジアムでのイベント 等 ・農業体験サポーターの活用を推進する。 ①食育ボランティアの協力による制度設計 ②登録制度の創設 ③サポーターによる情報発信

8 農村環境の整備と保全

施策30一快適な農村環境の整備 主担当:農政課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
35 農村の水環境の保全 <計画期間の取組内容> 農業生産の向上、公共用 水域の水質保全を図るため、農業集落排水事業を 継続します。	・ゆとりと潤いのある場として利用されている水環境施設(親水施設)の維持管理を行った。 ①杉山地区 1.2ha ②大池地区 2.2ha	В	・ゆとりと潤いのある場として利用されている水環境施設(親水施設)の維持管理を行う。 ①杉山地区 1.2ha ②大池地区 2.2ha

施策31-美しい農村景観づくり 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の取	組状況	評価	30年度以降の取組内容
	用作物の種子を取組農家/ ①取組面積 806a	↑ナナ等の景観形成 ↑配布した。		▶取組内容・ヒマワリ、ハナナ、コスモス等の景観形成用作物の種子を取組農家に配布する。①取組面積 1,000a
<計画期間の取組内容> 都市住民に憩いと安らぎ の場を提供するため、ハナナ・コスモス等の景観形成 作物に取組む農家に対 し、種子を配布します。		8戸	В	

施策32-集落機能の維持 主担当:農政課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
37 集落保全活動の維持・支援 <計画期間の取組内容> 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る ため、地域に対して支援を 行うとともに、新たな活動 組織の掘り起しを行います。		В	▶ 7 地区に対し、活動を支援する。▶ 活動に向け、新規活動組織の掘り起しと説明を行う。① 活動組織及び新規活動組織説明会② 個別相談③ 現地確認

施策33-有害鳥獣対策の推進 主担当:農業生産振興課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
38 有害鳥獣対策の支援 <計画期間の取組内容> 安定した農産物生産を実 現するため、ハクビシン・イ ノシシ・カラス等の有害鳥 獣対策を支援します。	・千葉市鳥獣被害防止対策協議会が取り組む 捕獲や侵入防止に係る経費を助成した。 ①ハクビシン捕獲活動(市内全域) 捕獲12頭 箱わな設置 30基 ②イノシシ捕獲活動(緑・若葉区) 捕獲10頭 箱打な設置 15基 電気柵設置 1,815m ③カラス追い払い(市内全域) 猛禽による追い払い 2回	B	・ハクビシン、イノシシ及びカラスの捕獲や 侵入防止、生息環境管理などの被害防止対策 の活動に対して助成する。 ・専門的なノウハウを有する「農作物野生鳥 獣被害対策アドバイザー」を活用し、地域の 実情にあわせた被害防止体制を構築する。

9 健全な森林づくりの推進

施策34ー優良な森林の整備推進 主担当:農業経営支援課

主要專業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
39 市森林整備計画の 実行・推進 <計画期間の取組内容> 適切な森林整備を推進す るため、市森林整備計画 に基づく各種事業を実施 します。	を取組状況 ・森林経営計画を認定した。 ①森林経営計画認定数 1件 (複数の市町村にわたるため県が認定)	В	全取組内容 主要事業40 森林の適正管理及び木材利用の 推進に統合。

施策35-価値ある森林づくりの推進 主担当:農業経営支援課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
40 森林の適正管理及び木材利用の推進 <計画期間の取組内容>森林環境を保全するため、間伐や枝打ち、下草刈等を促進するとともに、ボランティア団体の活動を支援します。また、循環型社会の形成、林業・木材産業の振興、森林再生を促進するため、県内産の木材利用を推進します。	今取組状況・森林整備事業に対して助成した。①造林0.22ha②下刈14.46ha③枝打5.02ha④間伐1.87ha⑤間伐材搬出12.75m²・新庁舎への木材利用促進について、関係部局に依頼した。	В	・ 取組内容 ・ 干葉市森林整備計画に基づき、造林、下 刈、枝打、間伐、間伐材搬出等の森林整備事 業や、サンプスギ溝腐病の被害を受けた森林 の、被害木の伐倒搬出等に助成する。 ・ 木材利用促進に向けたPRを行う。

施策36 - 森林病害虫対策の推進 主担当: 農業経営支援課

主要事業	29年度の取組状況 評価 30年度以降の取組内容
41 被害森林再生・資源循環促進事業への支援 <計画期間の取組内容>病害虫や気象災害による被害林の再生及び資源循環促進のため、各種事業に取り組む森林組合等に対し支援します。	・取組状況 ・取組内容 ・被害を受けた森林の被害木の伐倒等に助成した。 主要事業40 森林の適正管理及び木材利用の推進に統合。 ②性栽 0.09ha B

10 森林にかかわる人づくりの推進

施策37-森林への関心の向上 主担当:農業経営支援課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
42 林業体験教室の実施 <計画期間の取組内容>森林の持つ機能や役割について理解を広めるため、間伐材等を利用した工作物の制作や管理技術の講習会などを開催します。	・千葉市森林組合及び千葉県北部林業事務所印旛支所の協力により、森林管理についての講習や、チェーンソーを用いた間伐体験、ヒラタケの栽培講習を実施した。 ①参加者数 15人	В	● T葉市森林組合及び千葉県北部林業事務所 印旛支所の協力により、林業体験教室を実施 する。①募集定員 20人

施策38-森林ボランティアの育成と活動の支援 主担当:農業経営支援課

数値目標	策定時 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達成率	
(20) 森林ボランティ ア数	172人	187人	202人	251人	187人	134.2%	
主要事業	. 29	年度の取組状	況	評価	30年	■度以降の取組	内容
43 森林ボランティア活動の支援 <計画期間の取組内容>森林で活動を行うボランティア団体を支援するため、技術研修や団体相互の交流機会を設けるとともに、活動状況の情報発信等を行います。	本取組状況 ・各種研修会を ①技術研修会 ②安全研修会 ・森林ボランラの保全管理団体	活動を行う森林 対増加による。 受けるでは では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	*ボランティア *2人	A	本取組内容・森林整備活動に対し、研修会①技術研修会②安全研修会・森林ボランラ	かを行う森林ボラ 会、講習等で活動 会	シンティア団体)を支援する。 ・で千葉市里山

施策39-森林所有者の組織の育成と強化 主担当:農業経営支援課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
44 森林組合の育成強化 <計画期間の取組内容> 森林整備の中心的担い手 である森林組合の健全な 運営のため、森林組合及 び林業の担い手の活動を 支援します。	●取組状況 ・森林組合が実施する森林整備事業(造林等) に対して助成した。 ・森林組合の組織強化対策に対して助成した。 ①作業班育成強化事業(作業班の設置に 必要な会議開催等への助成) 51千円 ②広報宣伝事業(林業等に係る情報収集 及び啓発活動への助成) 30千円 ③執行体制強化事業(林業技術員の設置 に係る助成) 1,320千円	В	 取組内容 ・森林組合が実施する森林整備事業(造林等)に対して助成する。 ・森林組合の組織強化対策に対して助成する。 ①作業班育成強化事業 ②広報宣伝事業 ③執行体制強化事業

11 森林の多面的機能の活用

施策40-里山地区の保全 主担当:農業経営支援課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
45 里山づくりの推進 <計画期間の取組内容> 里山の有する多面的機能 の維持増進及び景観を保 全するため、企業や多様 な人々の参画による保全 活動を支援します。	▲取組状況・里山地区4箇所について森林ボランティア団体などの協力により、保全活動を行った(定例作業は月4日~5日)。	В	◆取組内容 ・現在ある里山地区について、ボランティア 団体と共に維持管理に努める。 ・里山への理解を深め、多くの市民が保全活動に参画できるよう、保全活動を行う団体を 育成するほか、ボランティア団体が主催する 市民向けイベントなどを支援する。

施策41-森林と農業の連携 主担当:農業経営支援課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容
46 農業と連携した森林機能の活用 <計画期間の取組内容>森林機能の活用を図るため、里山地区周辺の観光 農園などと連携し、農業とのコラボイベントに取り組みます。	・畠田さどにわ耕園において、「森林ホフン」 ティア技術研修会」を開催した。	В	▲取組内容 主要事業45 里山づくりの推進に統合。

施策42-教育の森と市有林の活用 主担当:農業経営支援課

主要事業	29年度の取組状況	評価	30年度以降の取組内容	
47 市有林等活用事業 の充実 <計画期間の取組内容> 森林の多面的機能を活用 するため、県で認定する教育の森並びに市有林を活 用し、ボランティア団体に よる森林整備や、交流の 場の創出を促進します。	を支援した。 ①観察・体験会開催数 2回 ②参加人数 のべ85人	В	本取組内容 主要事業45 里山づくりの推進に統合。	